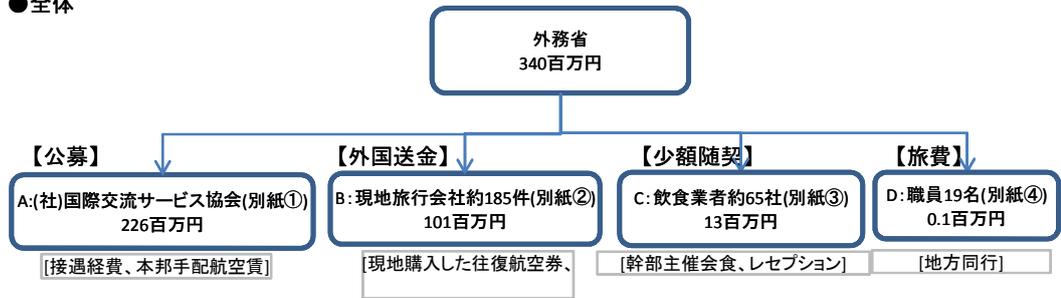
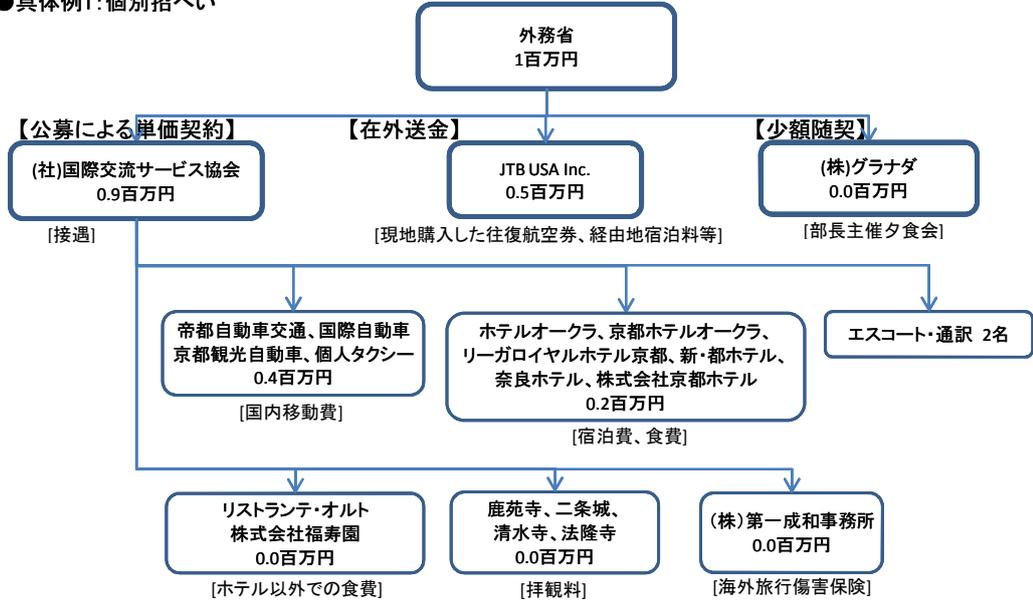


行政事業レビューシート (外務省)						
案件名	21世紀パートナーシップ促進招へい	案件開始年度	平成17年度	作成責任者		
担当部局	広報文化交流部	担当課室	人物交流室	室長 丸山 市郎		
会計区分	一般会計	上位政策	海外広報及び文化交流に必要な経費			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第1項	関係する計画、通知等	-			
案件の目的 (目指す姿を 簡潔に。 3行程度以内)	別個の制度であるオピニオンリーダー招へいの対象ほどハイレベルではないが、外国の政・経・官・学等の各界において一定の影響力を有する者または将来指導的立場につくことが有力視される実務レベルのための招待制度。年度毎の重要な外交政策を踏まえた招待を行い、我が国関係者と人脈を構築することで我が国外交政策推進の円滑化に資するとともに、中長期的な親日家・知日家層の育成・底上げを図る。					
案件概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の文化・社会等様々な分野についての理解を深め、また人脈を築くため、本省におけるブリーフィング及び意見交換、政府及び民間有識者等との懇談及び日本文化体験、地方視察等を実施(平均訪日期間は約7泊8日、上限は10泊11日)。 招待者を、ランクによってA(近い将来関係級となると目される官僚、国会議員、学者等特に配慮を有する者)、B(左記以外で一定の影響力を有する各界関係者)、C(若手官僚等の若手の各界関係者によるグループ招待)の3ランクに分類して実施(A・Bランクはビジネスクラス、Cランクはエコノミークラスを利用)。					
実施状況	全ての国及び国際機関を対象としており、平成21年度は142件(個別86件、2名以上56件)、計412名(出身国ベース:アジア・大洋州217名、北米8名、中南米24名、欧州117名、中東27名、アフリカ19名)を招待。 いずれの案件も、被招待者の要望を踏まえつつ案件概要に沿った日程にて招待し、我が国関係者との意見交換や、関連施設及び地方の視察を実施した。 本事業については、招待直後に訪日の感想及び成果を聴取する等短期的なフォローアップを行うとともに、その後も被招待者を定期的にフォローアップし、招待効果を定性的及び定量的に評価している。本事業が始まった平成17年度から4年間の招待者について、我が国の重要な外交政策実現にむけての各種協力において高い効果が確認されているとともに、現在より一層指導立場にしているかについても把握に努めており、平成21年度招待者についても引き続きフォローアップを行っているところである。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(当初)	400	400	411	311	
	予算額(補正後)	400	400	411		
	執行額	369	363	340		
	執行率	92.1%	90.8%	82.8%		
	費用総額(執行ベース)	369	363	340		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	1. 各案件毎の接遇、航空運賃(PTA発券、在外公館手配)、会食の見積額および支出額を、案件の基本情報とともに管理し、本招へい事業全体の執行状況を常に把握することで、綿密かつ迅速な執行管理を実施している。 2. 日程等基本情報及び経費の流れ航空券は委託業者を通じたPTA発券と比較して現地発券がより廉価である場合には、在外公館を通じ航空券手配を実施している。				
	見直しの余地	平成22年度は、調達における競争性をより一層高めるべく一般競争入札を実施したところ、6社からの応札あり。				
予算監視の効率化						
補記						

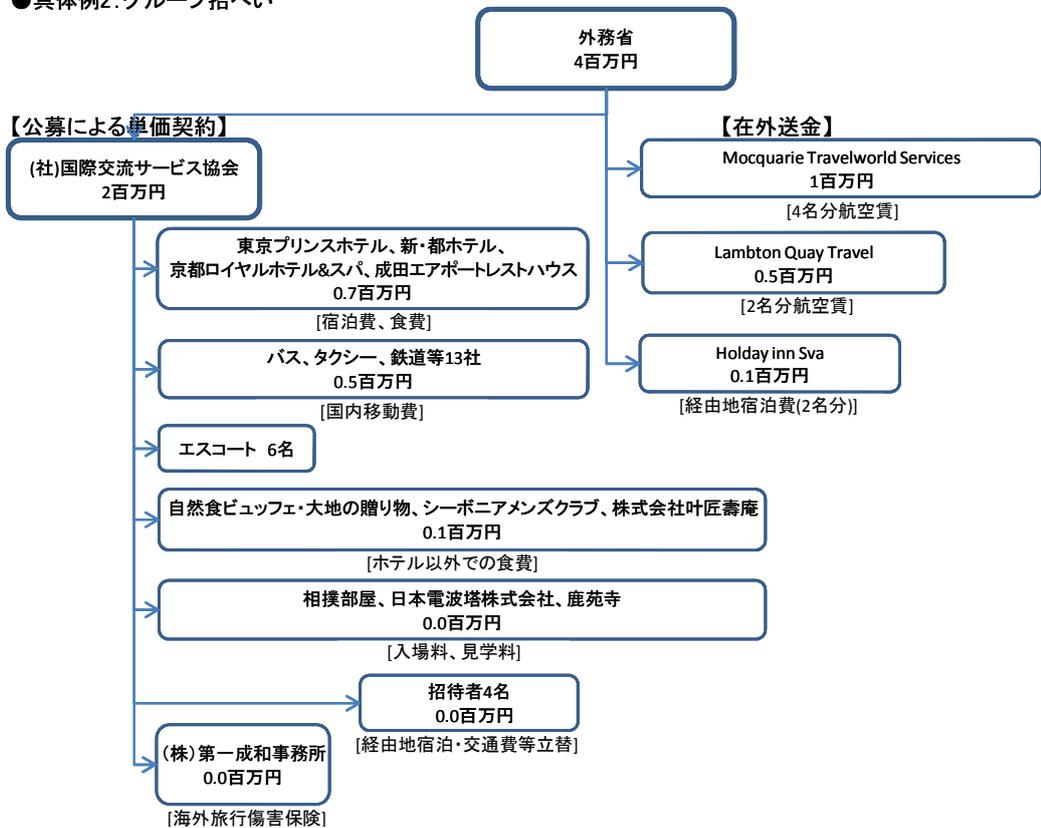
●全体



●具体例1:個別招へい



●具体例2:グループ招へい



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かる
 ように記載)

A.(社)国際交流サービス協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交通費	被招へい者鉄道・国内航空賃	13			
宿泊・食事代	被招へい者宿泊・食事代	61			
自動車借上料	ハイヤー、バス、タクシー使用料	56			
人件費	通訳・エスコート雇上料	53			
その他	入場料、立て替え金	10			
交通費	同行者鉄道・国内航空賃	5			
宿泊・食事代	同行者宿泊・食事代	5			
運営管理費	(各案件上記7項目合計の7%)	14			
航空賃	本邦手配航空賃	7			
計		226	計		0
B.ドイツ HIS Deutschland Touristik Gubh			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	航空賃	15			
計		15	計		0
C.東京プリンスホテル			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
飲食費	会食・レセプション	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

全体の資金の流れにおける上位10位

①接遇業務 案件別上位10件

順位	件名(対象)	合計金額
1	欧州青年日本研修Bグループ(欧州諸国)	¥ 8,863,534
2	欧州青年日本研修Aグループ(欧州諸国)	¥ 8,599,918
3	イスラム寄宿塾教師(インドネシア)	¥ 5,122,243
4	中国・師範大学関係者他9名(中国)	¥ 4,954,722
5	PIF諸国・地域グループ招へい(PIF諸国)	¥ 4,655,128
6	FEALAC環境ビジネス・ハイレベル会合の準備会合(FEALAC)	¥ 4,474,272
7	中・東欧諸国の将来有望な青年(中・東欧諸国)	¥ 3,984,858
8	日・サウジ青年交流サウジ側代表団(サウジアラビア)	¥ 3,807,086
9	環境及びハイテク分野に関する欧州若手専門家交流(ドイツ)	¥ 3,428,269
10	カリコム若手外交官招へい(カリコム)	¥ 3,193,883

②現地手配航空券上位10件の支払先

順位	支払先	金額
1	ドイツ HIS Deutschland Touristik GmbH	¥ 15,442,999
2	上海浙江中国青年旅行社	¥ 3,445,041
3	ウィーン H.I.S.	¥ 3,234,660
4	フィジー Mocquarie Travelworld Services	¥ 2,816,421
5	ベレン HW Negocios e Turismo	¥ 1,604,843
6	イラン TANIN PARVAZ TRAVEL	¥ 1,463,748
7	エチオピア ATTA	¥ 1,282,041
8	ガボン Plateau Affaires	¥ 1,227,798
9	インドネシア Golden Lama	¥ 1,223,640
10	コロンビア VIAJEXCURS	¥ 1,118,374

③飲食業者上位10社

順位	支払先	合計金額
1	東京プリンス	¥ 1,528,076
2	ホテルオークラ	¥ 1,206,728
3	うかい	¥ 1,010,562
4	なだ万	¥ 970,103
5	帝国ホテル	¥ 842,477
6	明治記念館	¥ 839,692
7	ホテルニューオータニ	¥ 566,798
8	北大路	¥ 547,970
9	志門	¥ 298,910
10	芝浦企業	¥ 289,380

④旅費受領職員上位10名

順位	支払先	合計金額
1	職員A	¥ 24,200
2	職員B	¥ 9,900
3	職員C	¥ 8,800
4	職員D	¥ 7,700
5	職員E	¥ 5,500
6	職員F	¥ 5,200
7	職員G	¥ 4,400
7	職員H	¥ 4,400
7	職員I	¥ 4,400
10	職員J	¥ 3,400